

柳原稲荷大祭に参加して

九月十五日十六日が地元の柳原稲荷の三年に一度の大祭ということで、十五日に所員から、Iさん、Kさん、Mさん、職員はSが、作業所設立以来初めて地元のお祭りに参加しました。おみこしを担ぐぞとはりきって(?)いたら、十五日は子どもみこしということで、大人は裏方仕事となりました。おみこしをさっそうと担ぐ姿を見せるといって当ては外れましたが、私たちの仕事は、休憩場所ごとに、水を飲む場の設定係りで、リヤカーで、ペットボトルの水を入れた箱、その場で作るテーブル用の板数枚、紙コップ、飲み終わった後のペットボトルや紙コップなどなどを運ぶ仕事、休憩場についたら、素早くテーブルを設定し、終わったら、設定解除と荷物積みと結構重要な仕事をを受け持たされました。



はなさく第二共同作業所

しかし、屈強な(?)男三人は、不慣れた仕事にもかかわらず、見事やってのけました。途中の休憩所で、ジュースが出るということで、Sが三人に、「もらってくれば」とけしかけたところ、むかしかたぎの銭湯のおやじさんから、「子どもだけ!そんなこともわからないのか!」とどやさされる一幕もありましたが、そこはまた、やさしい役員さんもいて、こっそり、四人分のジュースを持ってきていただきました。そんなこんなで、無事町内を一周。最後は、これも子ども向けのお菓子もゲット(Mさんは水風船も)しました。初めてでしたが、無事大役を果たすことができました。

Iさん：リヤカーで移動するのが楽しかった。

Kさん：おみこしやったのが楽しかった。

Mさん：お水を飲んで、キャーキャーさわいで、うれしかった。

「はなさく」のことを少しは町内にアピールできたかな。

職員 S



はなさくニュース

〒121-0071 東京都足立区東六月町5-20
TEL 03-6684-3990
FAX 03-6687-2376
e-mail:hanasaku294@yahoo.co.jp
2012.9.30 発行 No.36

第3回はなさくまつり

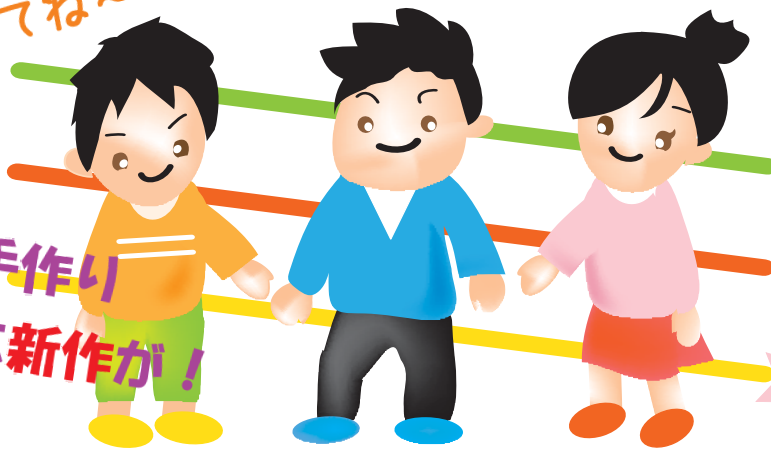
つなげよう

～ぼくたちから～

誰でも、
来て下さるに
気軽に。

みんな来てね～

自慢の手作り
お菓子が新作が！



今年もやります 「はなさくまつり」

今年で3回目になりました「はなさくまつり」を10月21日(日)に花畑共同作業所で行います。

今回のテーマは利用者みんなからの意見を取り入れ考えた

「つなげよう～ぼくたちから～」です。地域の人はもちろん少し遠くに住む仲間やまだ知らない…これから友達になる人。たくさんの世界や人とつながれる様にそんな大きな思いも込めてみました。

さて今回も企画が盛りだくさんです。昨年、大好評だった城北WA太鼓倶楽部による太鼓演奏、焼そばや大学いもなどがある模擬店、ミニミニバザー、新鮮でみずみずしい野菜の産直品販売、新作マフィンや人気のマドレーヌ・フィナンシェもあるお菓子の販売、どれも楽しみな内容です。3回目なのでおおいに盛り上げようという利用者・職員総出で「はなさくまつり」の準備が着々と進んでいます。

お楽しみに!!

H

こんな作業をしています

ある日の勉強会の様子

8月末、菓子メンバーは区内にあるレストランで勉強会をしました。

そこは精神障がいの方が通う作業所で、店員さんは利用者さんたちです。店内でのメンバー達は「挨拶や服装は?」「きちんと掃除がされていますね。」「ここ、作業所なんですね。」とチェックをしたり、うなずきあったり・・・。

ちょっぴり緊張気味の面々でしたが、その後出てきた美しい盛り合わせのデザートに思わずにっこり。



「こんな勉強会なら毎日いきたい!」そんな声も聞かれ、メンバー達はこれからの忙しい時期に向け、ほんの少し充電ができたようでした。職員 T

わたすげグループの仕事

生活介護事業作業型わたすげグループ。その仕事と言っても「う～ん、生活介護なのに仕事って?」と思われるかもしれませんが、しっかり仕事をしているのですよ。パソコンを使って、名刺、冊子、チラシ、年賀状等の印刷。取扱説明書の折り、ボールペン、キーホルダー等の袋詰め、封入封緘作業等の軽作業があります。先日は、区から委託された封入封緘作業に取り組みました。いつも以上の緊張感、無事終了した時には、充実感でいっぱいでした。そして、今年も年賀状の季節がやってきます。デザイン選考、パンフレット作成と着々と準備が進行中。年末へ向かう最大の難所へ向けて、みんな気合い充分です。職員 A



はなさくまつりの お手伝いお願いしま～す

10月21日の当日と前日の準備のお手伝いをお願いいたします。

お願いしたいことは・・・

20日(土) 前日

※ 会場準備

※ もぎ店下ごしらえ

21日(日) 当日

※ バザー売り子

※ もぎ店売り子

バザーの品物の提供もお願いします

※ 日用品、雑貨、衣類(新品あるいは未使用の物)。

お電話を頂ければ、こちらからうかがいます。

お手伝い、バザーについてのご連絡は TEL 03-6684-3990まで



「原やん」の歌声が作業所に響きました！

♪ こなこな せっけん こな せっけん ……♪

というフレーズを口づさめる楽しい歌が花作のみんなの心にきつと残っていることでしょう。

「原やん」こと、シンガーソングライターの原田義雄はらだよしおさんが八月の終り作業所に歌を唄いに来てくれました。

まだ残暑厳しい中、この日になんと岡山県からいらしたということ。原田さんは目に障害をお持ちですが、CDを出され、全国にそのやさしい歌声を届けているそうです。

冒頭の「粉せっけんのうた」は、原田さんの友人が通っている作業所の様子を聞きながら、原田さんご自身が詩と曲を書かれたということです。一曲目からギターの弾語りで聴かせて頂き、私たちの作業所のオリジナル曲にどことなく似ていて、とても共感していた仲間もいたようです。

原田さんの熱い思いと、作業所いっぱい響いた歌声は、みんなの少々夏バテ気味の雰囲気「明日からももっと仕事がんばろう！」という気持ちをくれました。

そして、みんなで童謡の「赤とんぼ」を合唱して、秋の気配を感じ、どこからか虫の鳴く声が聞こえたような、そんな午後のひと時でした。

原田さん、素敵な歌を聴かせて頂き、本当にありがとうございました。



花畑共同作業所

仲間の感想

石鹸を一生懸命作っている風景が伝わってきました。ビブラートもとれてて、歌に感動しました。

私も歌のセンスを磨いているので、私も原田さんみたいに歌上手くなりたいなど思いました。

このお忙しい中、わざわざ花畑共同作業所まで来てくださり有り難うございました。



とてもいい曲でした。

それにとても

やさしい曲でした

ぜひもう一度

歌って

もらいたいです、

よろしく

おねがいします。



S・W

S

はなさく福祉会理事会報告

福祉会の中・長期計画作りに向けて

去る9月1日 第60回はなさく福祉会理事会が開催されました。主な内容は法人と作業所のこれからの方向でした。昨年はなさく福祉会は設立10周年を迎え、これまでの10年と現状の課題から、次の10年に向けての中・長期計画の基になる話し合いが行われました。明確な方向を出すために、今の作業所（花畑、はなさく第二）の現状を分析し、また足立区の現状とこれからの予想される変化なども十分検討して ①現施設の充実、②現在の利用者の年齢が高くなりつつあることへの適切な対応、③今後の利用希望にどう応えていくか・・・などなど課題がたくさんある中で、それらを整理しつつ今年度中を目途に計画化していく事などが話し合われました。理事会の内容を受け9月6日に足立区障がい福祉課をたずね、足立区の状況をうかがい、はなさく福祉会の要望や今後の施設建設への意志などをお話してきました。

高木喜代子氏のご逝去を悼む

花畑共同作業所の初代運営委員長を務められ、その後の運営に大きな力を発揮された高木喜代子氏が7月ご逝去されました。心よりご冥福をお祈りいたします。

発足間もない、未認可でまだ行政からの運営助成も無かった大変困難な時期に運営委員会の中心になり、資金集めなどのいろいろな取り組みに、また足立区との話し合いにと大変大きな役割を發揮されました。ご自身の健康に不安を抱えながらも、いつも家族会、保護者の中で明るくたくましく活動をされてきました。

東六月町に移転するときも、汚れた壁を何日もかけてきれいにしたり、印刷機などのカバーを手作りしてくださるなど、職員にとっても「何かあったらまず高木さん」というように頼りがいのある「お母さん」でした。

作業所にとってとても大きな存在であっただけに喪失感はぬぐえません。しかしこれから作業所と法人の一層の成長に向けて役員、職員力を合わせて頑張っていくことで故人の志に応えていきたいと思えます。